

平成20年3月18日

各 位

会 社 名 株式会社 ヤマックス
 代表者名 代表取締役社長 茂森 潔
 (J A S D A Q ・ コード5285)
 問合せ先 代表取締役専務 茂森 拓
 管理本部長
 (TEL . 096-381-5871)

平成20年3月期通期（連結・単独）業績予想及び配当予想（復配）の修正に関するお知らせ

平成20年3月期（平成19年4月1日～平成20年3月31日）の通期の業績予想及び配当予想につきまして、平成19年11月14日付当社「平成20年3月期中間決算短信」において発表いたしました業績予想及び配当予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成20年3月期通期業績予想の修正

(1) 連結（平成19年4月1日～平成20年3月31日） (単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回予想 (A)	14,000	610	270	202
今回修正 (B)	13,780	660	370	290
増減額 (B - A)	220	50	100	88
増減率	1.6%	8.2%	37.0%	43.6%
(ご参考)前年同期実績 (平成19年3月期)	13,198	477	188	316

(2) 単独（平成19年4月1日～平成20年3月31日） (単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回予想 (A)	11,500	540	250	210
今回修正 (B)	11,850	610	330	260
増減額 (B - A)	350	70	80	50
増減率	3.0%	13.0%	32.0%	23.8%
(ご参考)前年同期実績 (平成19年3月期)	10,840	455	213	206

(3) 業績予想修正の理由

当社グループは、利益率を重視した営業活動や生産効率の向上など、全社改革をテーマとした中期経営計画の推進と収益の向上に取り組んでおります。

当社グループを取り巻く環境は、依然として公共事業の縮減傾向に変化は見られないものの、建築用セメント製品事業においては、マンション建設などの民間住宅関連事業や都市再開発事業の堅調さを背景として伸長し、土木用セメント製品事業においては、大型コンクリート構造物のプレキャスト製品化への推進活動や民間工事への積極的なアプローチに取り組むとともに、生産効率の向上にも努めてまいりました。

その結果、連結での売上は予想に僅かに届かぬものの、営業及び生産効率の向上への努力が実り、利益面において予想を上回る見込となりました。

2. 平成20年3月期の配当予想の修正

(1) 修正の内容(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

基準日	1株当たり配当金(円)	
	期末	年間
前回予想	0円00銭	0円00銭
今回修正	1円50銭	1円50銭
(ご参考)前年同期実績 (平成19年3月期)	0円00銭	0円00銭

(2) 配当予想修正の理由

当社の株主の皆様に対する利益還元につきましては、経営の最重要課題のひとつと認識し、安定的かつ継続的な配当の維持を基本方針としております。

しかしながら、ここ数年、厳しい経営環境の中での利益確保の状況を鑑み、老朽化した生産設備等の維持更新や今後の事業展開に備えるべく内部留保を優先することとしておりました。

平成20年3月期の業績につきましては、前段に表記いたしました通り当初予想を上回る見込みであり、復配が可能となる見通しとなりましたので、1株当たりの配当額を1円50銭とする旨を、本日開催の取締役会で決議いたしました。

つきましては、平成20年6月下旬に開催予定の第45回定時株主総会の決議をもちまして、配当を行う予定でありますので、お知らせいたします。

本業績予想の算出につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて行っておりますので、今後の様々な要因の変化により、実際の業績とは異なる可能性があります。

以 上